

「現地を訪問して想うこと」

2013年 公務研究科修了

高森 啓太郎

現地のバスガイドやボランティアガイドの方々からお話を伺うことで、当たり前のことかもしれませんが、今後も東日本大震災のことを決して忘れてはならないと強く感じました。

2015年3月に全線が復旧したJR石巻線の終着駅である女川駅周辺を訪問した際は、徐々に復興して行く姿を目で見て感じることができました。一方で、名取市閑上地区はまだまだ津波による被害を受けたままの姿でした。復興状況の地域差を感じるとともに、復興への道のりの長さを実感しました。

社長ご夫妻が校友である株式会社ささき圭さんのかまぼこはとても美味しかったです。震災によって3名の従業員を亡くし、全従業員に対して解雇を告げながら会社を再建されたお話を伺ったときは、「自分は向上心を持って全力で本気で毎日を過ごしているか？」と、とても考えさせられました。このツアーを通じて、東日本大震災からの復興に向けて懸命に前進する東北の方々と接することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。